



沖縄県議会議員

# 大浜イチロー一考動通信

Khodo &amp; Report Newsletter

発行: 大浜イチロー事務所

〒907-0004 沖縄県石垣市登野城69番地 2F ☎ 0980-83-1616

1 離島振興について。  
 (1) 知事の離島振興への思いと  
 決意について  
 【知事答弁】  
 沖縄の離島地域は、島々で  
 異なる個性豊かな自然環境、  
 文化、歴史的遺産等の魅力、  
 すなわち離島力を有しております。  
 その向上に向けて取り組むこ  
 とが重要であると考えています。  
 これまでの離島振興施策によ  
 り、離島の入域観光客数が、  
 平成28年度は約374万人と  
 平成21年度から百万人増加す  
 るなど、離島地域の社会経済  
 是着実に発展してきた一方で、  
 離島地域が抱える条件の不利  
 性により、人口流出に伴う地  
 域活力の低下などの課題が残  
 っています。

2 新しい沖縄振興計画における  
 (2) 新しい沖縄振興計画における  
 決意について  
 【企画部長答弁】  
 沖縄の離島地域は、島々で  
 異なる個性豊かな自然環境、  
 文化、歴史的遺産等の魅力、  
 すなわち離島力を有しております。  
 全ての人たち誰ひとりとして  
 取り残すことのない社会を築  
 いていきたいと思う。

3 アジア諸国へのトップセー  
 ルズ時の知事の姿勢について  
 (1) 中國による尖閣諸島への領  
 土的野心への対応について  
 【知事公室長答弁】  
 尖閣諸島をめぐる情勢は、  
 平成30年1月から9月に62隻  
 の中国公船等が領海に侵入す  
 るなど、我が国の領土主権を  
 侵害しかねない行為が頻繁に  
 起っている。今年は同諸島  
 周辺の日本の排他的経済水域  
 内に中国がブイを設置してお  
 いる。

4 空港施設の機能性の点など、  
 解決すべき課題が多いことか  
 ら、今後の検討課題と考えて  
 いる。

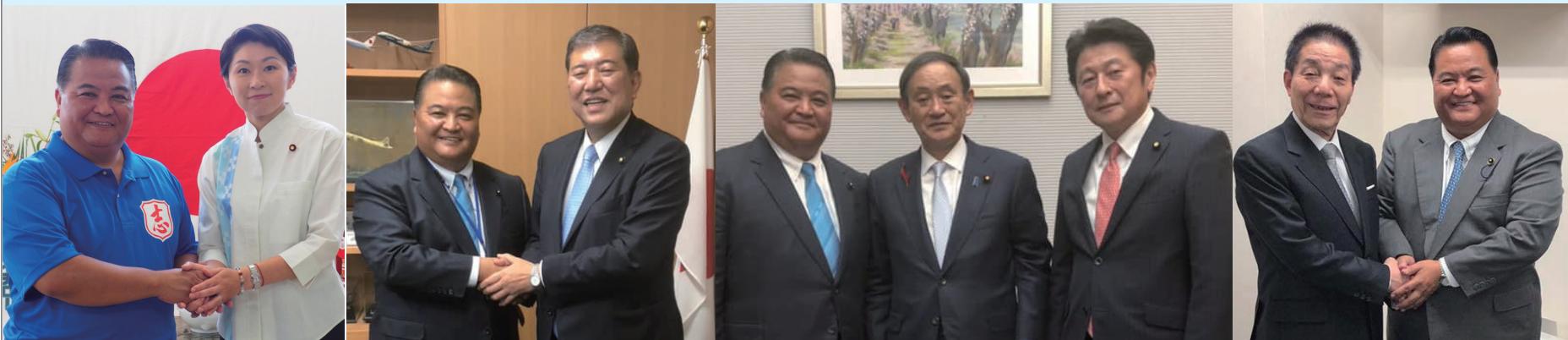
## 大浜イチロー公式Webサイト

公式ホームページで考動・活動を随時配信しています。


<https://www.ohama-ichiro.com>

&lt;img alt="QR code linking to the mobile website

# 国との太いパイプで県政を整え離島振興を確実にしていきます



## イチローの政策



### イチバン その1

すべての島民の暮らしを最優先に考えます。

イチローの原点は島民の暮らしを良くすること。調和の取れた島々のイチバンを目指します。イチローはどうすれば最も大きな成果が得られるのか深く考え「考動」します。

### イチバン その2

島々をさらに発展させ、豊かさを実感できるようにします。

八重山の地理的特性を活かし、国際観光都市としてのインフラ・ソフトの整備を進めます。八重山を世界のブランドへと押し進め、地域経済の更なる発展を図り、島民所得を伸ばします。

### イチバン その3

子育て、教育、医療、介護をさらに拡充させます。

離島格差縮小の為には、政治の手厚い下支え政策が不可欠です。沖縄振興計画の期限終了後を見据え、自由度の高い一括交付金制度の継続を具体的に提案していきます。



1年生議員ですが、甘んじることなく、県議会をはじめ、あらゆるアプローチから、掲げた政策を確実に実行いたします。皆様の忌憚のないご意見、ご要望を大浜イチローに、どうぞお寄せください。大浜イチロー公式ホームページ内のフォームからも、お送りいただけます。

## イチロープロフィール

### 経歴

沖縄県立八重山高等学校 卒業  
青山学院大学経済学部経済学科 卒業

### 家族

尊敬する人：両親  
父・母とともに頑固な祖父（明治生まれの大浜寛行）のもとで歯を食いしばり頑張り抜きました。  
いくら感謝しても足りないくらいです。先人の苦労があつてこそ現在の私たちなのだと肝に銘じています。



妻：一緒に苦労を重ねた妻は、小学生からの幼なじみ。  
現在は家業も手伝ってもらっています、頭があがりません。

ちなみに私の身体は妻のウマイ家庭料理で育まれました。

長男：経営学を学ぶため留学中

長女：幼稚園勤務

次女：大学在学中

### イチロー略歴

幼き頃、両親は東京で小さな小さな電気工事店を始めたものの、祖父の仕事を手伝うために故郷に戻り、昼も夜もなく働いていました。一郎は四人兄弟の長男であったため、両親に代わり兄弟の世話をしながら大きくなりました。小・中時代は無敵のブルース・リーにあこがれ、少林寺拳法に打ち込みました。

ラジオを通して聴く洋楽にあこがれコード欲しさに新聞配達のアルバイト。自ら作詞・作曲もしていました。

高校時代は生徒会副会長として生徒会活動に没頭、大学時代はミュージシャンになる夢を追いつかん活動に励んでいました。

大学卒業後は東京にて就職。家業を継ぐための修行を終え帰郷。

父母と共にまじめに努力を重ね、燃料販売業から小売業等への多角化を実現するものの苦労は絶えませんでした。例えば、八重山と海外との交流の重要性を力説しても誰にも理解してもらえない、そんな時代でした。

平成24年に沖縄県議選に立候補、7,904票を獲得しました。

支援していただいた方々に申し訳なく、自らを深く反省するばかりでした。その後、地域のためにと実業や各種団体活動に邁進。

平成30年(2018年)9月 沖縄県議会議員補欠選挙に、新たな強い信念を持って立候補、13,943票をいただき初当選を果たしました。